

教 科	受験番号
商 業	

1 次の設問(1)～(18)に答えよ。

(1) 出資者は社員とよばれ、社員の全員が無限責任を負い、原則として社員全員の合議によって経営を行う企業の種類として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 個人企業 ② 合資会社 ③ 合同会社 ④ 株式会社 ⑤ 合名会社

(2) 企業に課される税金に関する説明のうち、適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 消費税は、一定規模以上の事業を営む法人が、商品の売り上げなどにともない受け取った税額から、仕入れなどにともない支払った税額を差し引いた金額を納める。
- ② 住民税は、住民の日常生活にかかわりの深い公共サービスを受ける対価として支払う、個人にも法人にも課せられる税金である。
- ③ 事業税は、事業を行うことにより受ける公共サービスの対価という意味があるため、企業によっては利益ではなく、事業規模に応じた税負担分もある。
- ④ 固定資産税は、土地、建物、機械装置、備品などの固定資産を所有している場合に課せられる国税である。
- ⑤ 法人税は、会社に代表される法人が、一事業年度に生じた利益(所得)に課せられる国税である。

(3) 広告主が契約した運営者のウェブページやブログ、メールマガジンなどにリンクを貼ってもらい、それを通して販売などの成果が発生した際に、広告の掲載先のウェブサイト運営者に報酬が支払われる広告の種類として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① アフィリエイト広告 ② バナー広告 ③ リスティング広告
- ④ ペイドリスティング ⑤ リッチメディア広告

(4) 以下の資料から計算される発注すべき時期の商品の在庫量として、最も適切なものを、次の①～⑨の中から一つ選べ。

<資料>

- ・最高在庫量 9個 ・最低在庫量 1個 ・経済的発注量 8個
- ・リードタイム中の売上見込量 2個

- ① 1個 ② 2個 ③ 3個 ④ 4個 ⑤ 5個
 ⑥ 6個 ⑦ 7個 ⑧ 8個 ⑨ 9個

(5) 次の文の□にあてはまる言葉として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

1960年代以降、企業の最大利潤の追求に対する批判として、消費者保護や生活の質の向上、法令遵守や説明責任の遂行などの□が重視され、これらがマーケティングの理念に取り込まれた。

- ① CSR ② STP ③ GDP ④ AIDAS ⑤ SCM

(6) 次の文の(ア)～(エ)にあてはまる数字や語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

労働基準法では使用者は(ア)か月以上継続して勤務し、全労働日の(イ)割以上出勤した労働者に対して、(ウ)の年次有給休暇を与えることと定めている。最近の「働き方改革」では、この年次有給休暇を労働者に年間(エ)日以上取得させることを義務付けている。

	ア	イ	ウ	エ
①	1	7	5労働日以内	2
②	3	7	5から10労働日	3
③	5	8	10から15労働日	5
④	6	8	10から20労働日	5
⑤	12	8	15から30労働日	7

(7) 表示した意思が真意でないことを表意者自身が行った意思表示として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 虚偽表示 ② 錯誤 ③ 詐欺 ④ 瑕疵 ⑤ 心裡留保

(8) 他人の所有する土地を、一定の制限内で使用・収益することができる用益物権には4種類あるが、あてはまらないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 地役権 ② 留置権 ③ 永小作権 ④ 入会権 ⑤ 地上権

(9) 日本の経済成長について、資産バブルが崩壊して経済成長率が低下し、「失われた10年」といわれるのは、どの年代か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

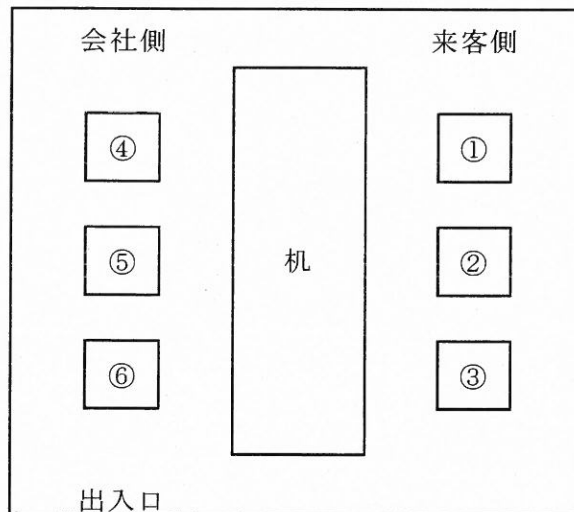
- ① 1960年代 ② 1970年代 ③ 1980年代
④ 1990年代 ⑤ 2000年代

(10) 次の表を完成させ、(ア)に入る数値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、円未満を四捨五入、構成比率はパーセントの小数第2位未満を四捨五入すること。

1	$¥535,490 \div 9.36 =$	(小計) ¥	(構成比率) <input type="text" value="(ア)"/> %
2	$¥456,792,840 \div 465,640 =$		
3	$¥6,973 \div 0.23049 =$		
4	$¥2,194,462,278 \div 5,462 =$	(小計)	(構成比率)
5	$¥893,587 \div 701.68 =$	¥	%
		(合計) ¥	

- ① 17.73 ② 17.92 ③ 18.00 ④ 18.04 ⑤ 18.48

(11) 次の会議室の図において、一般的に上座でいちばん職位の高い人が座る席次として、最も適切なものを、①～⑥の中から一つ選べ。



(12) 簿記・会計について説明した次の文の空欄A～Dにあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ・2006年(平成18年)12月に企業会計基準委員会が発表した討議資料「財務会計の概念フレームワーク」において、資産とは、過去の取引または、事象の結果として、報告主体が支配している(A)をいう。
- ・取引要素の結合関係において、資産の増加に対して、(B)が同時に結び付く取引はない。
- ・主要簿と呼ばれているのは(C)である。
- ・仕入れ先から受け取る納品書や領収書などの取引の事実を証明する書類を(D)という。

	A	B	C	D
①	経済的資源	資産の減少	仕訳帳のみ	伝票
②	経済的資源	負債の減少	仕訳帳・総勘定元帳	証憑 ^{ひょう}
③	純資産	資産の減少	総勘定元帳のみ	証憑 ^{ひょう}
④	財貨	負債の減少	仕訳帳のみ	証憑 ^{ひょう}
⑤	財貨	負債の減少	仕訳帳・総勘定元帳	伝票

(13) 次の取引の仕訳として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。なお、販売基準により処理し、商品に関する勘定を使う場合は、三分法によること。

<取引>

7月1日 商品200,000円を毎月末、5回の均等払いで売り渡した。

①	(借) 割賦売掛金	200,000	(貸) 売 上	200,000
②	(借) 割賦販売契約	200,000	(貸) 割賦仮売上	200,000
③	(借) 割賦販売契約	40,000	(貸) 割賦仮売上	40,000
④	(借) 現 金	40,000	(貸) 売 上	40,000
⑤	(借) 現 金	40,000	(貸) 割賦仮売上	40,000

(14) 記憶容量の単位として、GB(ギガバイト)がある。1GBは約10^アB(10の^ア乗バイト)である。^アの数字について、最も適切なものを、次の①～⑨の中から一つ選べ。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9

(15) コンピュータ上で扱うファイル形式のうち、動画ファイル形式として、適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① WMV ② AVI ③ MPEG-4 ④ AAC ⑤ MOV

(16) コンピュータシステムに対して、一連の仕事の処理を依頼してから、完全な結果を受け取るまでにかかる時間について、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① レスポンスタイム ② スループット ③ シークタイム
④ アクセスタイム ⑤ ターンアラウンドタイム

(17) あるコンピュータシステムを調査したところ、平均故障間隔が14日、平均修復時間が8時間であった。このシステムの稼働率として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、システムは毎日24時間連続運用しているものとし、稼働率の小数第2位未満を切り捨てること。

- ① 0.57 ② 0.63 ③ 0.97 ④ 1.02 ⑤ 1.75

(18) フールプルーフの説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① システムの一部が故障した場合に、故障した箇所を切り離すなどして、その影響を最小限に抑え、最低限のシステムの稼働を続けるという考え方。
② 人間は過ちを犯すという前提に立ち、誤った操作が全体に影響しにくい仕組みや、間違いを未然に防ぐシステムにすることで、人為的ミスに強いシステムを作る考え方。
③ 複数のハードディスク装置をまとめて1台の装置として管理し、データを分散して記録することにより、高速性や耐障害性の向上を図る技術。
④ 主システムと同じ構成のシステムを用意し、2台のシステムが同時に並行して同一の処理を実行し、互いの処理結果を照合しながら運用するシステム。
⑤ システムの一部が故障しても全体として正しく動作するように設計された高信頼性システム。

2 以下の〈資料〉にもとづき、(19)～(21)に答えよ。

〈資料〉

ア 当社では、製品Xの標準原価カードを設定している。

直接材料費	¥1,600/kg (標準価格)	3kg (標準消費数量)	¥4,800
直接労務費	¥1,450/時 (標準賃率)	2時間 (標準直接作業時間)	¥2,900
製造間接費	¥2,650/時 (標準配賦率)	2時間 (標準直接作業時間)	¥5,300
製品1個あたり標準製造原価			<u>¥13,000</u>

※製造間接費は、直接作業時間を基準として配賦される。

イ 製品Xの6月の生産データ

月初仕掛品 200個 (0.7)

当月投入 2,150個

合計 2,350個

月末仕掛品 150個 (0.6)

当月完成 2,200個

※材料は工程の始点で投入している。また、()内は加工進捗度である。

ウ 当月の原価要素ごとの実際発生額は以下のとおりである。

直接材料費 ¥1,620/kg (実際価格) × 6,470kg (実際消費数量) = ¥10,481,400

直接労務費 ¥1,430/時 (実際賃率) × 4,360時間 (実際直接作業時間) = ¥6,234,800

製造間接費 ¥12,152,000

(19) 材料費差異のうち、数量差異として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① ¥32,000 (借方差異) ② ¥32,400 (借方差異) ③ ¥129,400 (貸方差異)
④ ¥129,400 (借方差異) ⑤ ¥161,400 (借方差異)

(20) 労務費差異のうち、賃率差異として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① ¥85,800 (借方差異) ② ¥87,000 (借方差異) ③ ¥87,000 (貸方差異)
④ ¥87,200 (借方差異) ⑤ ¥87,200 (貸方差異)

(21) 製造間接費差異のうち、操業度差異として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。なお、6月の月間固定費予算は¥7,200,000で、基準操業度は4,500時間である。製造間接費差異は公式法変動予算を用いて、予算差異、能率差異、操業度差異に分解している。その際、能率差異は変動費のみからなるものとして計算する。

- ① ¥ 63,000 (借方差異) ② ¥159,000 (借方差異) ③ ¥224,000 (借方差異)
④ ¥320,000 (借方差異) ⑤ ¥374,000 (借方差異)

3 以下の〈資料〉にもとづき、(22)～(26)に答えよ。

〈資料〉

1. 関ヶ原株式会社の財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位：百万円

	金額	負債の部	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	A	支払手形及び買掛金	154,000
受取手形及び売掛金	110,000	短期借入金	140,000
有価証券	333,000	未払法人税等	83,000
棚卸資産	36,800	賞与引当金	42,700
繰延税金資産	300	その他	47,300
その他	46,200	流動負債合計	467,000
貸倒引当金		固定負債	
流動資産合計		社債	1,000
固定資産		長期借入金	19,000
有形固定資産	95,400	その他	15,000
無形固定資産	11,200	固定負債合計	35,000
投資その他の資産	165,800	負債合計	502,000
固定資産合計	272,400	純資産の部	
		株主資本	
		資本金	200,000
		資本剰余金	40,000
		利益剰余金	640,000
		自己株式	△ 7,000
		株主資本合計	873,000
		その他包括利益累計額	△ 31,000
		非支配株主持分	(省略)
		純資産合計	
資産合計		負債純資産合計	

連結損益計算書

単位：百万円

	金額
売上高	
売上原価	225,000
売上総利益	
販売費及び一般管理費	165,000
営業利益	
営業外収益	4,820
営業外費用	
支払利息	
その他	3,600
営業外費用合計	
経常利益	B
特別利益	5,180
特別損失	400
税金等調整前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	58,320
法人税等調整額	△ 13,000
法人税等合計	45,320
当期純利益	
非支配株主に帰属する当期純利益	(省略)
親会社株主に帰属する当期純利益	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,000
現金及び現金同等物の増減額	
現金及び現金同等物の期首残高	456,000
現金及び現金同等物の期末残高	

2. 当期の主な財務指標

- ア 売上原価率 30.0%
イ 総収益支払利息比率 1.8%
ウ 売上高営業キャッシュ・フロー比率 12.0%

<注意事項>

1. 受取手形及び売掛金の期末残高に対し、2%の貸倒引当金を見積もる。
2. 連結貸借対照表の「現金及び預金」には、連結キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」以外に含まれるものはない。
3. 財務諸表中の は各自計算すること。
4. 比率を求める場合、パーセントの小数第1位未満を四捨五入すること。

(22) 連結貸借対照表の「現金及び預金」の金額(表中A)として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選べ。(単位:百万円)

- ① 94,000 ② 456,000 ③ 550,000 ④ 567,000 ⑤ 678,000

(23) 連結損益計算書の「経常利益」の金額(表中B)として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選べ。(単位:百万円)

- ① 337,900 ② 338,080 ③ 347,540 ④ 347,720 ⑤ 677,540

(24) 流動比率として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 132.4% ② 209.9% ③ 212.6% ④ 230.0% ⑤ 230.9%

(25) 固定長期適合率として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。(ただし、その他包括利益累計額は含まない。)

- ① 11.7% ② 12.8% ③ 13.0% ④ 30.0% ⑤ 778.2%

(26) 以下のア～オのうち、「C投資活動によるキャッシュ・フロー」に該当するものの組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ア 資金の貸付
イ 配当金の支払い
ウ 社債の償還
エ 固定資産の売却収入
オ 受取手形の回収

- ① アとイ ② アとエ ③ イとオ ④ ウとオ ⑤ エとオ

4 次の文章を読み、(27)～(30)に答えよ。

旅行代理店A社に勤務する池田さんは、社員の旅費を計算する業務を担当している。従来、表計算ソフト(Excel)で構築した運賃表金額検索システムを使用していたが、作業の効率化のためにシステムの改善を図ることにした。

[従来のシステム ワークシート：運賃表金額検索]

社員の旅費は、発駅と着駅に基づいて決定される。ワークシート“運賃表金額検索”には、発駅から着駅までの金額を検索するための運賃表(指定席)が格納されている。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	運賃表(指定席)(乗車券+新幹線特急料金)										(単位:円)
2		駅番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
3	駅番号	発駅\着駅	東京	新横浜	静岡	名古屋	岐阜羽島	米原	京都	新大阪	
4	1	東京	×	2,800	6,470	11,090	11,310	12,630	13,850	14,400	
5	2	新横浜	2,800	×	5,700	10,430	11,090	12,080	13,180	14,070	
6	3	静岡	6,470	5,700	×	6,470	7,670	8,770	10,430	11,090	
7	4	名古屋	11,090	10,430	6,470	×	2,880	3,630	5,700	6,470	
8	5	岐阜羽島	11,310	11,090	7,670	2,880	×	3,150	5,040	5,700	
9	6	米原	12,630	12,080	8,770	3,630	3,150	×	3,460	5,040	
10	7	京都	13,850	13,180	10,430	5,700	5,040	3,460	×	2,860	
11	8	新大阪	14,400	14,070	11,090	6,470	5,700	5,040	2,860	×	
12											
13	金額検索		検索結果								
14		駅番号	東京 から 岐阜羽島 まで								
15		発駅	1								
16		着駅	5								
17			¥11,310								

図1 ワークシート“運賃表金額検索”

- セルB15とセルB16は、発駅と着駅の駅番号を入力する。
- セルD14は、セルB15をもとに運賃表を参照して発駅名を表示する。
- セルF14は、セルB16をもとに運賃表を参照して着駅名を表示する。
- セルD16は、セルB15とセルB16をもとに運賃表を参照し、金額を表示する。

(27) F14に入る計算式について最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① =VLOOKUP(B15, A4:B11, 2) ② =HLOOKUP(B16, C2:J3, 2)
- ③ =VLOOKUP(B16, A4:C11, 3) ④ =HLOOKUP(B15, C2:J3, 2)
- ⑤ =INDEX(C4:J11, B15, B16)

次に、池田さんは従来のシステムを改善するにあたり、以下の3点を課題として設定した。

- 運賃表は指定席だけでなく、自由席も検索できるようにする。
- 駅番号を入力して検索する方法ではなく、駅名を入力して検索できるようにする。
- 現状では、発駅と着駅が入力されていなければ、金額欄にはエラー(#N/A)が表示される。そのため、発駅・着駅・席種が入力されていない場合には、空欄表示とする。

池田さんは課題を解決するために、以下の新運賃表金額検索システムを構築した。

[新しいシステム ワークシート：新運賃表金額検索]

ワークシート“新運賃表金額検索”には、指定席と自由席に対応する運賃表が格納されている。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	運賃表(指定席)(乗車券+新幹線特急料金) (単位:円)										運賃表(自由席)(乗車券+新幹線特急料金) (単位:円)									
2	発駅\着駅	東京	新横浜	静岡	名古屋	岐阜羽島	米原	京都	新大阪		発駅\着駅	東京	新横浜	静岡	名古屋	岐阜羽島	米原	京都	新大阪	
3	東京	×	2,800	6,470	11,090	11,310	12,630	13,850	14,400		東京	×	1,380	5,940	10,560	10,780	12,100	13,320	13,870	
4	新横浜	2,800	×	5,700	10,430	11,090	12,080	13,180	14,070		新横浜	1,380	×	5,170	9,900	10,560	11,550	12,650	13,540	
5	静岡	6,470	5,700	×	6,470	7,670	8,770	10,430	11,090		静岡	5,940	5,170	×	5,940	7,140	8,240	9,900	10,560	
6	名古屋	11,090	10,430	6,470	×	2,880	3,630	5,700	6,470		名古屋	10,560	9,900	5,940	×	1,460	3,100	5,170	5,940	
7	岐阜羽島	11,310	11,090	7,670	2,880	×	3,150	5,040	5,700		岐阜羽島	10,780	10,560	7,140	1,460	×	1,730	4,510	5,170	
8	米原	12,630	12,080	8,770	3,630	3,150	×	3,460	5,040		米原	12,100	11,550	8,240	3,100	1,730	×	2,160	4,510	
9	京都	13,850	13,180	10,430	5,700	5,040	3,460	×	2,860		京都	13,320	12,650	9,900	5,170	4,510	2,160	×	1,440	
10	新大阪	14,400	14,070	11,090	6,470	5,700	5,040	2,860	×		新大阪	13,870	13,540	10,560	5,940	5,170	4,510	1,440	×	
11																				
12	金額検索		席種																	
13	発駅	東京	▼	指定席																
14	着駅	新大阪	▼	自由席																
15	席種	指定席	▼																	
16	金額	¥14,400																		
17																				

図2 ワークシート“新運賃表金額検索”

- セル B13 とセル B14 は、駅名を選択する。
- セル B15 は、席種を選択する。
- セル B16 は、セル B13～B15 をもとに、対応する運賃表を参照して金額を表示する。

(28) 池田さんは、B13 および B14 の入力ミスを防ぐために、A3～A10 の発駅に表示された駅名から選ぶように設定した。また、B15 の入力ミスを防ぐために、D13、D14 に表示された席種から選ぶように設定した。このように選択肢から選ぶ入力規則の名称として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① リスト ② ソート ③ フィルタ ④ ピボットテーブル
⑤ テキストボックス

(29) B16 に入る計算式について最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① =IF(OR(B13="", B14="", B15=""), INDEX((L3:S10, B3:I10), MATCH(B13, A3:A10, 0), MATCH(B14, B2:I2, 0), IF(B15="指定席", 1, 2)), ""))
② =IF(OR(B13="", B14="", B15=""), "", INDEX((B3:I10, L3:S10), MATCH(B13, A3:A10, 0), MATCH(B14, B2:I2, 0), IF(B15="指定席", 2, 1)))
③ =IF(OR(B13="", B14="", B15=""), "", INDEX((B3:I10, L3:S10), MATCH(B13, A3:A10, 0), MATCH(B14, B2:I2, 0), IF(B15="指定席", 1, 2)))
④ =IF(AND(B13="", B14="", B15=""), INDEX((B3:I10, L3:S10), MATCH(B13, A3:A10, 0), MATCH(B14, B2:I2, 0), IF(B15="指定席", 1, 2)), ""))
⑤ =IF(AND(B13="", B14="", B15=""), "", INDEX((B3:I10, L3:S10), MATCH(B13, A3:A10, 0), MATCH(B14, B2:I2, 0), IF(B15="指定席", 2, 1)))

最後に、池田さんは社員の旅費請求金額を条件付きで集計するために、以下のワークシートを作成した。

[ワークシート：社員旅費請求検索]

ワークシート“社員旅費請求検索”には、社員の旅費請求についての記録が格納されている。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	条件								
3	日付	社員	発駅	着駅	席種	請求金額合計			
4		加藤			自由席				
5									
6	社員旅費請求一覧								
7	日付	社員	発駅	着駅	席種	金額			
8	2021/7/1	上野	新横浜	岐阜羽島	指定席	¥11,090			
9	2021/7/1	土田	米原	静岡	自由席	¥8,240			
10	2021/7/2	田中	東京	名古屋	指定席	¥11,090			
11	2021/7/2	加藤	名古屋	新横浜	自由席	¥9,900			
12	2021/7/2	上野	岐阜羽島	新横浜	指定席	¥11,090			
13	2021/7/3	佐藤	東京	名古屋	指定席	¥11,090			
14	2021/7/3	佐藤	名古屋	東京	指定席	¥11,090			
15	2021/7/3	田中	名古屋	新大阪	自由席	¥5,940			
16	2021/7/3	加藤	新横浜	静岡	自由席	¥5,170			
17	2021/7/4	加藤	静岡	名古屋	自由席	¥5,940			
18	2021/7/5	田中	新大阪	東京	指定席	¥14,400			
19	2021/7/5	伊藤	京都	新横浜	自由席	¥12,650			
20	2021/7/7	加藤	新大阪	東京	指定席	¥13,870			
21	2021/7/8	太田	名古屋	新横浜	自由席	¥9,900			
22	2021/7/9	伊藤	新横浜	京都	自由席	¥12,650			
23	2021/7/10	加藤	東京	新大阪	自由席	¥14,400			
24	2021/7/10	太田	新横浜	名古屋	自由席	¥9,900			
25									

図3 ワークシート“社員旅費請求検索”

1. 8行目から24行目までのデータは、2021/7/1から2021/7/10までの社員の旅費請求について記録したものである。なお、これ以外のデータはないものとする。

2. セルH4には、次の式が設定されている。

=IF(COUNTA(A4:E4)=0, "", DSUM(A7:F24, 6, A3:E4))

(30) H4に表示される値について最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

① ¥22,180

② ¥35,410

③ ¥36,830

④ ¥49,280

⑤ ¥94,690

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 高等学校 商業

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	⑤	④	①	③	①	④	⑤	②	④	③

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	②	②	①	⑨	④	⑤	③	②	①	⑤

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	④	③	③	④	④	②	②	①	③	②

